

中国からのトキの提供について

1. これまでの中国からのトキの提供

- ・ これまでに中国から3回、計5羽のトキが提供されている。

第1回：平成11年1月 …「友友（ヨウヨウ）、洋洋（ヤンヤン）」（ペア）

第2回：平成12年10月…「美美（メイメイ）」

第3回：平成19年11月…「華陽（ホワヤン）」、「溢水（イーシュイ）」

2. 日本におけるトキの繁殖と遺伝的な状況

- ・ 日本のトキは上記5羽をもとにした人工繁殖が順調に進んだ結果、野生下・飼育下合わせて200羽を超えるまでになったが、専門家から遺伝的には脆弱で危機的な状況にあることが指摘されている。遺伝的多様性を確保するため、新たな個体の提供について中国側への要望を続けてきた。

3. 昨年末の日中首脳会談及びその後の状況

- ・ 昨年12月25日に北京で行われた日中首脳会談の中で、温家宝総理より、トキの新たな個体の提供について前向きな意向が示された。
- ・ 環境省では、日中首脳会談の結果を受け、中国国家林業局との間でトキの羽数、受入れ時期等について事務レベルでの協議を進めているところ。